

私は 2009 年 2 月にコンサルタントとして独立起業し、現在まで主に中小企業のシステム部門へのコンサルティング、ERP 導入運用支援などのサービスを提供しております。

このたび、2 度目の受験で CCBA に合格しましたので、受験決意から合格までの体験を他の受験者の皆様のご参考になればと思い、投稿いたします。

### ビジネスアナリシス(BABOK)との出会い

私が BABOK の存在を知ったのは独立から 1 年を過ぎた頃の 2010 年 2 月でした。独立するまでの約 20 年間、主に事業会社(いわゆるユーザ企業)のシステム部門で仕事をしてきたのですが、SE でもコンサルタントでもない、自分の職務を明確に表す言葉がないことを感じていました。

システム部門は IT 活用が主眼とイメージしがちですが、私は業務改善や組織改革を最も効率的、効果的に促進できる立場であると感じていたからです。そうした思いと自己啓発の観点から、中小企業診断士と情報処理技術者のシステムアナリスト等の資格を取得していたのですが、ビジネスアナリストという立場と、BABOK の内容はまさに私の思う役割と合致しており「これだ！」という思いを強く感じました。

早速 BABOK についての勉強を始めようと、約半年前に出版された BABOK ガイド日本語版を買って読み始めたのですが、知識体系ですのでビジネスアナリストの仕事の流れとリンクさせることが難しく感じ、なかなか読み進められていませんでした。

そんなとき、IIBA 日本支部で無料の BABOK 説明会があることを知り参加させていただきました。このときに講師をやられていた KB マネジメントの清水様が EEP として公開教育コースを実施されていることを知り、CBAP 受験に必要な CDU も獲得できることから 2 つのコースを受講させていただきました。この 2 つのコースでは BABOK に沿ったビジネスアナリシスの概要と、エンタープライズアナリシスのビジネス戦略への活用方法を学ぶことができ、業務では得ることのできない貴重な経験となりました。清水様にはその後 CCBA 受験でもお世話になることとなります(後述)。

### CCBA 日本語試験出願まで

認定コース受講後、これまでの BA に関係する実務経験を棚卸しながら CBAP 受験のタイミングを考えつつも、仕事と並行していた専門職大学院での活動に集中せざるを得ない状況となってしまう、なかなか受験への決断をできずにいました。そのような状況であった 2010 年 11 月に CCBA 試験の実施について IIBA 本部より発表があり、2011 年 1 月の IIBA 日本支部総会で CCBA 認定試験の日本語化についてのお話がありましたので、それを待つこととして 2011 年 11 月の日本語ペーパー試験に出願することにしました。当時も大学院での活動もあって情報収集が十分でなかったのですが、IIBA 日本支部の出願に関する説明会や資料など、参考にさせていただき無事受験資格を得ることができました。

具体的な CCBA 試験への出願方法や留意事項については、他の受験者の方たちが体験記で詳しく述べられていらっしやいますので、ここでは割愛いたします。

## CCBA 日本語ペーパー試験を受験、不合格

2011年11月26日実施のCCBA日本語ペーパー試験の受験に向けては、BABOKガイドに目を通すことと、試験の3週間ほど前にKBマネジメント清水様のCCBA対策コースを受講し、各知識エリアのタスクのインプット、アウトプット、要素、テクニックなどを、ガイドを参照しながら確認し、模擬問題の演習を行いました。しかしながら、問題の解答時にガイドの該当箇所を確認するだけの断片的な知識のままに終わらせてしまい、最後まで体系的な知識として身に付いた実感がないままでした。これは結果にも如実に表れることとなるのですが、私の認識がかなり甘かったことも事実です。個人的な印象から、受験資格認定時の実績評価に比べ、試験内容は基本的な内容の確認程度ではないかと勝手に判断してしまっていたのです。

それは試験当日に思い知らされました。試験内容のレベルはおそらくCBAPと大差なく、設問も断片的な理解では解答できないものが多く出題され、試験終了時は50~60%の正解率ではないかと思われました。年末ぎりぎりに結果のメールが来ましたがやはり不合格。残念ながら日本語ペーパー試験での合格者の仲間入りはできませんでした。

## CBT 試験への再出願と受験、合格

CCBA日本語ペーパー試験で不合格になって以降、日本語でのCBT試験が可能となり、こちらの試験で合格される方も出てこられました。私は前回の失敗を踏まえ、再受験にあたっては準備を念入りにすべきとの思いがありましたので、初回受験申請認定から1年ギリギリの8月中旬に受験日を設定し、再受験の申し込みを行いました。そして受験日は8月9日に決まりました。

再受験にあたっては、BABOKの各知識エリアのタスクを体系的に理解すべく、タスク間のインプットとアウトプットの関連付けをまとめるネットワークチャートを何枚か書いてみました。BABOKガイドの冒頭にもある通り、各タスクには決められた順番がありませんので、すべてのタスクをネットワークに表すのは困難で、すぐに断念しました。私は馴染みのあるウォーターフォール型開発での要件定義で通常行うタスクを並べてみて、それにBABOKでのタスクを当てはめてイメージし、いくつかのパターンでチャートを書いてみました。これを作成した後BABOKガイドを3回通読したのですが、それまで気づかなかった重要な記述に気づくことができ、とても役に立ちました。通読と並行して各タスクのインプット、アウトプット、要素、テクニックについてまとめたサブノートも作り、移動時間などに読み返しました。約10年前の中小企業診断士の受験以来、文字を手で書くことが激減していたため、手が痛くなり字が下手で後から判読不能になったりしましたが、学習という面では考える素材となり、結果的に良かったかもしれません。

試験の約10日前には、再度KBマネジメント清水様の受験対策コースを受講させていただき、模擬問題の演習など、前回と同様に行いました。ここでは75%程度の正答率となり、今回の学習方法の成果を実感できました。

試験当日、150問は慎重に考えながらも2時間程度でまずはひと通り解答し、残りの1時間半で見直しを3回程行いました。80%程度は正答しているだろうと感じ、「submit」ボタンを押すと「Congratulations!」の表示が出て安堵しました。

## さいごに

私は個人で活動しているため、顧客企業以外との接点がありません。今回のCCBA合格をきっかけにワーキンググループなどへの参加を通して、より一層の自己研鑽と、ビジネスアナリシスの普及に微力ながら貢献できればと考えております。